

## 仙台空港ソーラーカーポート (名取市)



仙台空港では、航空産業の脱炭素化を図るため、第一駐車場の一部とピア棟の屋根上に太陽光発電施設を設置し、発電した電気を空港の旅客ターミナルへ供給する取り組みを行っています。特に、遊休地の活用として駐車場に設置されたソーラーカーポートとしては県内でも最大級の規模（令和5年3月時点）となり、旅客ターミナルビル全体消費電力量の約2割を賄うことができます。

今後は、駐車場の太陽光発電設備の設置場所の拡大や、EVカーシェアリング事業、蓄電池を活用した携帯電話の充電スポットなど、発電した電気の地域での活用、空港又はその周辺におけるBDFの活用についても検討していきます。



第一駐車場に設置されるソーラーカーポート (イメージ)



ソーラーカーポート下部イメージ

Keyman's  
VOICE

豊田通商株式会社

小川 光 さん

国土交通省の計画の中には空港の再エネ拠点化構想があり、今回の事業はその構想の具現化を目指す取り組みです。仙台国際空港株式会社をはじめ、関係者の皆様のおかげでこの事業をスタートすることが出来ました。

当社は国内外の空港運営経験を生かしながら、空港のスペースを利活用し、太陽光発電などの再生可能エネルギーを生産し、空港並びに空港関連事業者等に供給する事で、空港全体のカーボンニュートラル実現に貢献していきます。



所在地	名取市下増田字南原無番地
アクセス	仙台空港鉄道 仙台空港駅からすぐ 仙台東部道路仙台空港 IC から約10分
エネ種	太陽光発電 1,595.5kW
活用した補助事業	令和4年度空港脱炭素化推進事業費補助金事業（国土交通省）
運営主体	豊田通商株式会社・東急不動産株式会社・東北電力株式会社
連絡先	豊田通商株式会社 広報部 TEL: 03-4306-8200
見学の可否	要相談

## 宮城オルレ気仙沼・唐桑コース ソーラーサイクルステーション (気仙沼市)



韓国済州島発祥のトレッキングコース「オルレ」が平成30年に宮城県で始まり、1コース目として気仙沼・唐桑コースが整備されました。気仙沼・唐桑コースは、唐桑半島の先端にある唐桑半島ビジターセンターから、三陸復興国立公園の代表的な景勝地である巨釜・半造まで、約10kmのトレッキングコースです。片道のコースであることから、ゴールした後の移動手段が課題となっていました。

そこで設置されたのが、太陽光により発電した電気を電動自転車に充電して使うことのできる「ソーラーサイクルステーション」です。環境と観光が共生するモデル事業として、オルレのスタート地点の唐桑半島ビジターセンターと、ゴール地点の半造レストハウスに設置し、令和4年5月1日から運用しています。

歩くと4時間かかるコースですが、電動自転車だと速い人は約20分でゴールからスタートまで戻ることができます。観光客の皆様からも、便利という声が多数寄せられており、中には1日レンタルして、唐桑半島だけでなく市街地や大島への観光に活用した人もいたそうです！ぜひご活用ください。

充電設備にはコンセントも設置されており、非常時には携帯電話の充電などに活用することも可能です。



半造レストハウスのソーラーサイクルステーション



オルレコース内にある馬の形の看板(カンセ) 頭の方に進みます！(写真:気仙沼市観光課提供)

所在地	気仙沼市唐桑町崎浜4-3(唐桑半島ビジターセンター) 気仙沼市唐桑町小長根264-2(半造レストハウス)
アクセス	三陸自動車道唐桑半島 IC から約20分
エネ種	太陽光発電 各455W
活用した補助事業	令和2年度みやぎ環境交付金事業(宮城県)
運営主体	気仙沼市産業部観光課・気仙沼市観光協会唐桑支部
利用料金	2時間以内:500円/回 1日レンタル:1,500円/日
連絡先	TEL: 0226-32-3029 (気仙沼市観光協会唐桑支部)